京都第二赤十字病院麻酔科専門研修プログラム

1. 専門医制度の理念と専門医の使命

① 麻酔科専門医制度の理念

麻酔科専門医制度は，周術期の患者の生体管理を中心としながら，救急医療や集中治療における生体管理，種々の疾病および手術を起因とする疼痛・緩和医療などの領域において，患者の命を守り，安全で快適な医療を提供できる麻酔科専門医を育成することで，国民の健康・福祉の増進に貢献する.

② 麻酔科専門医の使命

麻酔科学とは，人間が生存し続けるために必要な呼吸器・循環器等の諸条件を整え，生体の侵襲行為である手術が可能なように管理する生体管理医学である. 麻酔科専門医は，国民が安心して手術を受けられるように，手術中の麻酔管理のみならず，術前・術中・術後の患者の全身状態を良好に維持・管理するために細心の注意を払って診療を行う，患者の安全の最後の砦となる全身管理のスペシャリストである. 同時に，関連分野である集中治療や緩和医療，ペインクリニック，救急医療の分野でも，生体管理学の知識と患者の全身管理の技能を生かし，国民のニーズに応じた高度医療を安全に提供する役割を担う.

2. 専門研修プログラムの概要と特徴

基幹研修施設である京都第二赤十字病院，研修連携施設A，研修連携施設Bにおいて専攻医が整備指針に定められた麻酔科研修カリキュラムの到達目標を達成できる教育を提供し，十分な知識と技術を備えた麻酔科専門医を育成する. また，基幹病院間連携を有効に活用し，必要経験症例数の確保や，集中治療・ペインクリニック・緩和医療などの領域においても，研修の機会が得られるようにする.

3. 専門研修プログラムの運営方針

●プログラム制研修の概略

1）研修医の受け入れは，日本専門医機構での専攻医応募を通じて，プログラム研修委員会が窓口となって行う.

2）研修の4年間を通じて，基幹研修施設と連携研修施設とで計画的に研修を行う. 個々の研修者の研修配属先は，研修者の希望を十分に考慮し，プログラム研修委員会で決定する. 個々の研修者が，特殊な麻酔及びサブスペシャルティ領域の研修（集中治療，ペインクリニック・緩和医療）を含む研修カリキュラムを達成できるようにローテーション計画を立案して実施する.

3）4年間の研修中に基幹研修施設での研修を原則1年含むこととする.

●研修内容の整備

・本プログラムの研修医師には，連携施設Aである京都府立医科大学附属図書館への電子アクセス及びデータベースの検索権限を発行し，自己学習の環境を整える．
・平日勤務日に毎朝開催される術前症例カンファレンスのほかに，月1回の研究発表会に参加し，麻酔科領域の専門知識の習得を図る．
・日本麻酔科学会の年次学術集会，支部学術集会には特別な理由がない限り，参加を必須とする．学術集会で行われる麻酔科領域講習，および医療安全，倫理，感染対策等の共通講義の受講を推進する．
・研修者には基幹施設で定期的に開催される医療倫理，医療安全，感染制御に関わる 研修会への参加を推進することで，麻酔科学のみならず，医師として必須となる共通領域への知識や技能取得を確実に達成できるように努める．
・日本麻酔科学会関西支部の行う症例検討会（関西マンスリー），年に3―4回開催する麻酔関連研修会，京滋麻酔科医会講演会への参加を必須とする．

研修実施計画例

・基幹病院である京都第二赤十字病院での研修をコアに，連携施設Aと連携施設Bで の研修を組み合わせて，4年間で様々な経験が得られる研修を実践する．
・基本，1~2年間は基幹病院である京都第二赤十字病院での研修を行い，研修生の希 望を十分に考慮し，3~4年間の携施設Aと連携施設Bでの研修を実践する．

年間ローテーション表

	1年目	2年目	3年目	4年目
A	本院	本院	連携施設B	連携施設A
B	本院	本院	連携施設A	連携施設B
C	本院	連携施設B	連携施設A	連携施設A

週間予定表

・労務環境に十分に配慮した研修ローテーションを実践する．

	月	火	水	木	金	土	日
午前	手術室	手術室	手術室	代休	手術室	休み	休み
午後	手術室	手術室	手術室	代休	手術室	休み	休み
当直			当直				

2.　専門研修連携施設

専門研修基幹施設

京都第二赤十字病院

研修実施責任者：平田　学

専門研修指導医:平田　学(麻酔・集中治療・救急医療)
三田健一郎(麻酔)
岡林志帆子(麻酔)
石川　大基(麻酔)
田中　遥　(麻酔・集中治療)
長谷川知早(麻酔)
専門医:鈴木　悠(麻酔)
小山理加(麻酔)
松下裕貴(麻酔)
三田ひろみ(麻酔)
麻酔科認定病院番号:582
特徴:京都御所に隣接し，明治45年に開設された日本赤十字社京都支部常設救護所を起点とし，今日まで，地域中核急性期病院として発展.

京都府立医科大学附属病院
研修実施責任者:天谷文昌
専門研修指導医:天谷文昌(麻酔・ペインクリニック・緩和医療)
小尾口邦彦(集中治療)
石井祥代(麻酔)
内藤慶史(麻酔)
飯田　淳(麻酔)
早瀬一馬(麻酔・ペインクリニック・緩和医療)
松田　愛(麻酔・集中治療)
木下真央(麻酔)
山北俊介(麻酔)
井上美帆(麻酔・集中治療)
谷口彩乃(ペインクリニック・緩和医療)
前田知香(麻酔・ペインクリニック・緩和医療)
山田知見(麻酔)
堀井靖彦(麻酔)
松岡　豊(麻酔・ペインクリニック・緩和医療)
永井義浩(ペインクリニック・緩和医療)
井上敬太(麻酔・集中治療)
仲宗根ありさ(ペインクリニック・緩和医療)
大屋里奈(ペインクリニック・緩和医療)
平川由佳(ペインクリニック・緩和医療)

松尾佳那子（ペインクリニック・緩和医療）
越田晶子（ペインクリニック・緩和医療）
専門医：北口菖子（麻酔・集中治療）
高橋裕也（麻酔）
矢持祥子（麻酔）
藤田　怜（麻酔）
小川達也（ペインクリニック・緩和医療）
麻酔科認定病院番号：18
特徴：集中治療、ペインクリニックのローテーション可能

京都府立医科大学附属北部医療センター
研修実施責任者：吉岡真実
専門研修指導医：吉岡真実（麻酔）
矢野奈津子（麻酔）
麻酔科認定病院番号：651
特徴：京都府丹後医療圏の中核病院．天橋立の近くで風光明媚な位置．大学本院との密な連携で，心臓麻酔や小児麻酔なども，より確実に経験していくことが可能．

京都第一赤十字病院
研修実施責任者：阪口雅洋
専門研修指導医：阪口雅洋（麻酔・集中治療）
芦田ひろみ（麻酔・集中治療）
影山京子（麻酔）
山崎正記（集中治療）
稲垣優子（麻酔）
三原聡仁（麻酔）
河合直史（麻酔）
川口　顕（麻酔）
専門医：串本洸輔（麻酔・集中治療）
麻酔科認定病院番号：154
特徴：救命救急センター，総合周産期母子総合医療センターを擁する．心臓麻酔，産科麻酔，救急手術の麻酔など，豊富な症例経験．集中治療のローテーション可能．

京都岡本記念病院
研修実施責任者：山根毅郎
専門研修指導医：山根毅郎（麻酔・集中治療）

橋本壮志（麻酔・集中治療）
鈴村和子（麻酔）
原美紗子（麻酔）
辰野有沙（麻酔）
専門医：木村百穂（麻酔）
石山　諭（麻酔）
實井一史（麻酔）
麻酔科認定病院番号：790
特徴：京都府久世郡久御山町にある医療機関．災害拠点病院，京都府がん診療拠点病院，救急告示病院，京都府地域リハビリテーション支援センター，地域医療支援病院，管理型臨床研修病院に指定されている．

市立福知山市民病院
研修実施責任者：村上敬之
専門研修指導医：村上敬之（麻酔）
小原潤也（麻酔）
加藤祐子（麻酔）
専門医：木田春香（麻酔）
麻酔科認定病院番号：976
特徴：京都府中丹地域における基幹的総合病院．京都府の災害拠点病院，臨床研修病院など多数の機能の指定を受ける．

綾部市立病院
研修実施責任者：別府　賢（麻酔）
専門研修指導医：別府　賢（麻酔）
専門医：笹川奈央（麻酔）
麻酔科認定病院番号：934
特徴：京都中丹綾部の中核的病院．地域周産期母子医療センター，へき地医療拠点病院である．

京都中部総合医療センター
研修実施責任者：林　和子
専門研修指導医：林　和子（麻酔）
有吉多恵（麻酔）
山口陽輔（麻酔）
竹下秀祐（麻酔）

専門医：荻野壮輔（麻酔）
麻酔科認定病院番号：830
特徴：京都府南丹市にある医療機関で，亀岡市・南丹市・京丹波町の2市1町で構成される京都府丹医療圏の中核病院．

京都山城総合医療センター
研修実施責任者：松本裕則
専門研修指導医：松本裕則（麻酔）
前田祥子（麻酔）
専門医：高井明子（麻酔）
麻酔科認定病院番号：1090
特徴：京都府木津川市にある公立の病院で，京都府災害拠点病院，エイズ治療拠点病院であり，地域周産期母子医療センターに指定されている．

舞鶴医療センター
研修実施責任者：武智大和
専門研修指導医：武智大和（麻酔）
専門医：大塚里奈（麻酔）
麻酔科認定病院番号：1991
特徴：京都府舞鶴市に位置し，京都府北部だけでなく，北近畿における唯一の医療センターとして，地域における中核的医療機関として機能している．

医療法人社団石鎚会　京都田辺中央病院
研修実施責任者：梁　勉
専門研修指導医：梁　勉（麻酔）
荒井俊之（麻酔）
平方秀男（麻酔）
安本寛章（麻酔・集中治療）
麻酔科認定病院番号：1427
特徴：京田辺市で唯一の急性期病院として，山城北医療圏の周辺市町村も含めて，地域医療を支えている．

京都鞍馬口医療センター
研修実施責任者：小川雅巳
専門研修指導医：小川雅巳（麻酔）
鳥居ゆき（麻酔）

池上有美（麻酔）
三間智惠（麻酔）

麻酔科認定病院番号：524

特徴：平成9年に厚生省指定臨床研修病院の指定を受け，地域の基幹病院として活動している．一般医療はもとより，救急医療・高度先進医療に力を入れている．

済生会滋賀県病院

研修実施責任者：加藤秀哉

専門研修指導医：加藤秀哉　（麻酔）
西脇侑子（麻酔）
権　哲（ペインクリニック・緩和医療）
今里絵梨香（麻酔）

麻酔科認定病院番号：1094

特徴：滋賀県の三次救急医療機関として，ドクターカー・ドクターヘリが配備された県内随一の救命救急センターがあり，滋賀県・京都府南部の急性期医療の中核を担っている．

近江八幡市立総合医療センター

研修実施責任者：布施秋久

専門研修指導医：布施秋久（麻酔）
加藤裕紀子（麻酔）
中城正紀（麻酔）
専門医：今村隆史（麻酔）

麻酔科認定病院番号：415

特徴：救命救急センター，地域周産期母子医療センターを併設し緊急手術症例が豊富で，新生児から超高齢者まで幅広い年齢層の麻酔研修が可能．

大阪府済生会吹田病院

研修実施責任者：荒木竜平

専門研修指導医：荒木竜平（麻酔）
上田雅史（麻酔）
川上真樹子（麻酔）
城村佳揚子（麻酔）
竹村　瞳（麻酔）
添田理恵（麻酔）
専攻医：坂本翔太郎（麻酔）

麻酔科認定病院番号：499

特徴：大阪府吹田市の中核的病院で，臨床研修病院をはじめ，地域医療支援病院や大阪府がん診療拠点病院などの指定を受けている．

淀川キリスト教病院
研修実施責任者：小畑友里江
専門研修指導医：小畑友里江（麻酔）
川口理佐（麻酔）
佐藤仁信（麻酔）
奥野亜依（麻酔）
平家史博（麻酔）
専門医：上田浩平（麻酔）
不仁樹有花（麻酔）
山崎克晃（麻酔）
田村あゆ（麻酔）
岡田　薫（麻酔）
穆　慧麗（麻酔）
麻酔科認定病院番号：548
特徴：全人医療の実践を理念とし，患者一人一人のからだとこころとたましいに寄り添う，地域に根差した急性期病院．集中治療やペインクリニックの研修も可能．

伊勢赤十字病院
プログラム総括責任者：中川　裕一
指導医：中川裕一（麻酔、心臓麻酔）
藤井　文（麻酔、心臓麻酔）
北川愛子（麻酔）
専門医：宇佐美　良子（麻酔）
坂口　由香菜（麻酔）
玉利　裕佳（麻酔）
中邑　都月（麻酔）

認定病院番号：735
特徴：三重県南勢部の医療の中心となる総合病院．ほぼ全ての診療科が揃い豊富な症例を経験できる．特色として成人心臓麻酔症例が多く，JB-POT 認定医・心臓麻酔専門医も複数おり指導体制が整っているため資格が取得しやすい．超音波ガイド下末梢神経ブロック対象麻酔症例が豊富であり、多彩な神経ブロックを行っている．TAVIも豊富な症例があり、経カテーテルでの左心耳閉鎖術やPFO閉鎖術も経験可能

国立成育医療研究センター

研修実施責任者:糟谷　周吾

専門研修指導医:

糟谷　周吾(麻酔)

大原　玲子(麻酔)

馬場　千晶(麻酔)

佐藤　正規(麻酔)

蜷川　純(麻酔、心臓血管)

山下　陽子(麻酔)

行正　翔(麻酔)

古田　真知子(麻酔)

浦中　誠(麻酔、心臓血管)

橋谷　舞(麻酔、心臓血管)

伊集院　亜梨紗(麻酔)

兒玉　洋介(麻酔)

久米　澄子(麻酔)

岩田　裕貴

岩田　愛理

認定病院番号:87

特徴:

・国内最大の小児・周産期・産科・母性医療の専門施設で、小児(手術・検査等)・周産期の麻酔管理(帝王切開・無痛分娩・EXIT 等)について、指導者の下で経験・習得できる。

・国内最大の小児集中治療施設で、救急・重症疾患の集中治療管理を経験・習得できる。

・小児の移植(肝臓・腎臓・小腸・心臓)の周術期管理を経験できる。

・先天性心疾患を有する麻酔管理(手術・カテーテル検査)を経験できる。

・小児がんセンター、緩和ケア科があり、小児緩和医療を経験できる。

・臨床研究センターによる臨床研究サポート体制がある。

岐阜大学附属病院

研修プログラム統括責任者:紙谷　義孝

専門研修指導医:紙谷　義孝(麻酔、区域麻酔)

田辺　久美子　(麻酔, ペインクリニック)

長瀬　清　(麻酔)

操　奈美　(麻酔、ペインクリニック)

新屋　苑恵　(麻酔、ペインクリニック、区域麻酔)

中村 好美（麻酔，心臓血管麻酔，ペインクリニック）
中西 真有美（麻酔）
大沼 隆史（麻酔）
林 慶州（麻酔、心臓血管麻酔）
金 優（麻酔、ペインクリニック）
上野 美佳（麻酔）
専門医：田中 亜里沙（麻酔）
浦崎 有輝（麻酔）
乗原 吉範（麻

静岡赤十字病院
研修実施責任者：渡部恭大
専門研修指導医：渡部恭大（麻酔）
岡部宏文（麻酔）
加藤有紀（麻酔）
小林真弓（麻酔）
松沼佳代子（麻酔）

麻酔科認定病院番号：920
特徴：静岡駅徒歩圏内に位置する地域中核病院。整形外科症例が多く末梢神経ブロックや脊髄くも膜下麻酔を実施する機会は多い。脳神経外科の開頭手術症例も多い。心臓外科の開心術は年間50例程度。血管外科症例は比較的多く重症症例も多い。
若手の学会発表・論文執筆指導にも注力しており2024年度日本麻酔科学会東海・北陸支部学術集会にて最優秀演題賞受賞。海外学会にも積極的に参加・発表している。
2025年度総手術件数5621件、麻酔科管理症例3082件、全身麻酔症例2985件。
研修実施責任者：渡部恭大

名古屋大学医学部附属病院
研修実施責任者：秋山　浩一
専門研修指導医：
秋山　浩一（麻酔、心臓血管麻酔）
荒川　陽子（麻酔）
柴田　康之（麻酔、ペインクリニック、区域麻酔）
鈴木　章悟（麻酔、集中治療）
浅野　市子（麻酔、ペインクリニック）
川瀬　宏和（麻酔、集中治療）

尾関　奏子（麻酔）
園部　奨太（麻酔、集中治療）
山根　光和（麻酔、集中治療、心臓血管麻酔）
安藤　貴宏（麻酔）
赤根　亜希子（麻酔）
平井　昂宏（麻酔、集中治療）
佐藤　威仁（麻酔、集中治療、ペインクリニック）
米倉　寛（麻酔、集中治療）
駒場　智美（麻酔）
谷口　菜奈子（麻酔）
藤井　祐（麻酔、集中治療、心臓血管麻酔）
天野　靖大（麻酔）
三澤　知子（麻酔）

麻酔科認定病院番号：38
特徴：
　名古屋大学医学部附属病院麻酔科では、年間7,500件以上の麻酔管理症例を有しており、超低出生体重児から超高齢者まで、あらゆる年齢層・疾患に対応した高度な麻酔研修が可能です。
　2025年度には、心臓血管外科727例、胸部外科537例、脳神経外科413例、帝王切開185例、6歳未満の小児472例の麻酔管理を実施しており、幅広い診療科にわたる多様な麻酔症例を経験できます。特に小児麻酔分野では、2013年に小児がん拠点病院に指定されて以降、小児外科、小児整形外科、小児脳神経外科などの小児がんに対する手術麻酔において豊富な実績を誇ります。2021年度からは小児へのDa Vinci手術も開始されており、高度な小児外科手術麻酔の研修も可能です。
　産科麻酔では、母体合併症や胎児異常を有するハイリスク妊婦の帝王切開麻酔を多く担当しており、超緊急帝王切開では決定から30分以内の娩出を目標に、産科チームと密に連携しながら迅速な対応を実現しているほか、無痛分娩にも対応しています。
　　心臓血管外科領域では、CABGや弁置換術に加え、大動脈瘤などの大血管手術にも積極的に取り組んでいます。重症心不全センターを併設し、年間約10例の体内式左室補助人工心臓（LVAD）植え込み術を行っており、心移植適応患者への高度な麻酔管理経験を積むことが可能です。2022年度からは小児心臓外科手術が開始され、2025年度には約80例の小児心臓外科手術の麻酔を行い、小児循環器麻酔にも深く関わることができます。
　また、当院では腎移植・肝移植・心移植に対応しており、2025年度からは肺移植も4例実施されました。移植医療の麻酔という、極めて専門性の高い領域においても実践的な経験を積むことができます。
　そして、当院のもう一つの大きな特色が、麻酔科主導のClosed ICUである「外科系集中治療部（SICU）」の存在です。SICUでは2025年度には年間2,135例の重症患者を受け入れています。その約半数が術後症例ですが、残りの半数は敗血症、ARDS、肺炎、急性腎障害といった重症疾患であり、集中治療を要する重症病態に広く対応しています。麻酔科医が中心となって診療を行うClosed ICU体制をとっており、術後管理だけでなく、感染症・呼吸循環不全・多臓器不全などの集学的治療を通じて、高度な重症病態の管理スキルを身につけることができます。
　麻酔科専攻医は3～6ヶ月間のSICUローテートが可能で、集中治療専門医の取得を目指す場合には、必要に応じてさらに研修を継続することができます。多職種連携を重視したチーム医療が行われており、医師としての視野を広げながら、麻酔＋集中治療の二本柱でのキャリア形成が可能です。
　さらに、週3回のペインクリニック外来および入院管理も行っており、慢性疼痛や神経ブロック、がん性疼痛に対する介入など、麻酔関連領域にも幅広く対応できる力を養うことができます。
　名古屋大学医学部附属病院麻酔科は、手術麻酔にとどまらず、集中治療、移植医療、小児・産科・心臓外科麻酔、ペインクリニックといった多岐にわたるフィールドで質の高い教育と実践の場を提供しています。豊富な症例数と充実した指導体制のもと、将来の専門医・指導医を目指すために最適な研修環境を整えています。

岐阜大学附属病院

研修プログラム統括責任者：紙谷　義孝

専門研修指導医：紙谷　義孝（麻酔、区域麻酔）
　　田辺　久美子　（麻酔，ペインクリニック）
　　長瀬　清　（麻酔）
　　操　奈美　（麻酔、ペインクリニック）
　　中村　好美　（麻酔，心臓血管麻酔，ペインクリニック）
　　中西　真有美　（麻酔）
　　大沼　隆史　（麻酔）
　　林　慶州　（麻酔、心臓血管麻酔）
　　金　優　（麻酔、ペインクリニック）
　　上野　美佳　（麻酔）

専門医：田中　亜里沙　（麻酔）
　　浦崎　有輝　（麻酔）
　　畑中　奈津美　（麻酔）
　　足立　隆将　（麻酔）
　　岩井　亮太　（麻酔）
　　福田　光希　（麻酔、小児麻酔）

認定病院番号：　73

特徴：大学病院であるため研修指導医や専攻医が多数おり，スタッフと幅広く意見交換をすることができる．ペインクリニックのローテーションが可能.

東京科学大学病院

研修プログラム統括責任者：内田篤治郎

専門研修指導医：内田篤治郎(麻酔)
遠山悟史(麻酔、小児麻酔、産科麻酔)
仙頭佳起(麻酔、集中治療)
奥山めぐみ(麻酔、小児麻酔、心臓血管麻酔)
塚田さよみ(麻酔)
岩野雄一(麻酔、心臓血管麻酔)
増田孝広(麻酔、集中治療)
山本雄大(麻酔、心臓血管麻酔、小児麻酔)
高橋京助(麻酔、心臓血管麻酔)
石橋克彦(麻酔、小児麻酔)
竹本彩(麻酔、小児麻酔、産科麻酔)
山地芳弘(麻酔、心臓血管麻酔、区域麻酔、救急)

金森眸(麻酔)
阿久根翼(麻酔)
今村祥子(麻酔)
水野えり(麻酔)
林颯吾(麻酔、心臓血管麻酔)
野口麻理緒(麻酔、小児麻酔)
芳賀誠人(麻酔)
伊藤瑛里(麻酔)
遠藤一毅(麻酔)
韓琇淵(麻酔、産科麻酔)
塩田修玄(集中治療)
特徴:様々な分野に精通する指導医たちの下、大学病院ならではの幅広い症例が経験できる。
ICU のローテーションも可能。